

聞きたいけど

聞けない

Q & A

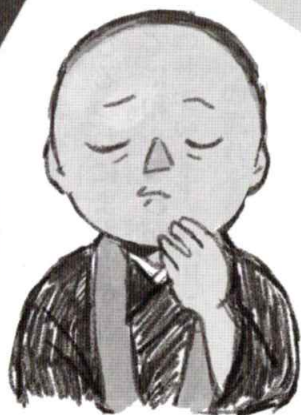
仏教婦人会総連盟講師

花岡静人

## 其の四

科学の発達によって、  
さまざまな問題が  
解決されるように  
なっています。  
将来的には「宗教」  
は必要とされなく  
なり、無くなるので  
はないでしょうか？

なるほど、  
私の身の丈を越えた「宗教」そのもの  
に関するご質問、なんとも困っております。  
でも、そんなふうには思っていらっしゃる  
方も多いのかもしれませんが。  
ただ、私はそうは思えないのです。



## 結論



「宗教」のぜい肉はとられていくのかもしれませんが。でも、「宗教」そのものが無くなることはないと思います。おっしゃる通り、随分と科学が発達しました。そのために、太鼓を抱えた雷さまは、雨雲の上から追い出されてしまいました。雷さまだけでなく、昔はわからなかったこと、だから何か、人智を超えたものによってなされていると受け止められていたものが、科学的に説明されるようになりました。病も、医療の発達によってほとんど治すことができるようになりました。もちろん、今も難しい病気や、また、新しく生まれる病気もありますが、たゆまない研究によってその原因や

治療法が、科学的に解明されようとしています。驚いたことに、先日、あるテレビ番組で「若返り」ということが可能となった、とさえ伝えていました。どれほど時代が変わっても、解決できないと思われていた「老病死」という命のできごとさえ、科学が解決してしまいそうなのです。

ですから、おっしゃるとおり、それらを解決するため  
の宗教は私にとって必要ではなくなるのかもしれませんが。  
だけど、いのちの中に「孤独」という問題がある限り「宗  
教」が無くなることはないでしょう。どれほど周りの  
環境が整ったとしても、私が「必要」とされないという「孤  
独」にはとても耐えられないからです。どんな私であっ  
ても、必要とされている、居場所がそこにある、宗教には、  
命が抱える底知れない孤独を抱いてくれる、支えてくれ  
る「はたらき」があります。

実は、科学が、よけいなものをはぎとってくれ、かえつ  
て「宗教」の本当の意味があきらかになったのかもしれ  
ません。その意味での「宗教」は「人間」がそこにいる限り、  
決して無くなることはないと思います。